

ごあいさつ

地球環境と人間活動が調和した循環型社会への転換が急がれている今日、企業の果たす役割は非常に大きくなっています。

富士工場は1960年（昭和35年）の工場開設以来、主力製品である過酸化水素を中心にその誘導品である酸化剤及び還元剤等を生産し、社会に供給し続けてまいりました。これら製品は塩素を使わない漂白剤や土壌改良剤など、地球環境汚染の改善に役立つ「環境に優しい製品」を多く製造しています。このような製品を生産する私たちは、従来から環境問題に対し深い関心を抱き、当工場を取り巻く環境問題に対して「継続的な改善」という基本方針に基づき、日々努力を続けてまいりました。

環境改善を更に進展させるため、2000年4月には、環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得いたしました。また、当工場はエネルギー多消費型工場のため、特に省エネルギー活動に注力してまいりました。そのひとつとして2000年8月、県下で先駆けてコージェネレーションシステムを導入し、その後静岡県や富士市がそのクリーン性から地元各企業にコージェネレーションシステムの導入促進を進めています。

ここ数年の当工場の課題は、更なるエネルギー使用の削減及び廃棄物の削減・リサイクル率向上の2つです。エネルギー使用の削減に関しましては、コージェネレーションシステム導入後、機器更新に際して省エネタイプの導入などで対応してまいりましたが、2007年度からはESCO事業（熱交換効率改善）を導入し、エネルギー削減に努めています。

一方、廃棄物の削減・リサイクル率の向上においては、数年来の地道な活動により、2006年度に初めて達成したゼロエミッション（最終埋立量が外部委託処理量の1%未満）を2007年度も継続し、リサイクル率は、2004年度以降97%以上を維持しております。

今後、富士工場は更なる省エネ、環境改善に寄与する投資、操業方法改善などを行い、一步一步着実に『地球環境にやさしい製品・技術の提供と環境負荷の低減』に努めてまいります。

当工場の環境保全活動を皆様にご理解していただくと共に、ご意見、ご指導を頂ければ幸いと存じます。

2008年10月

株式会社ADEKA 富士工場

富士工場長 村瀬 久